

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 7 日

事務事業名		真壁伝承館管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020203000635
						単独/補助	補助		090601
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	生涯学習課
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						課長名	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	生涯学習G
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						担当者名	
手段名		O3 ③生涯学習・文化施設の活用							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	02	05	00	真壁伝承館管理事業		
法令根拠		桜川市真壁伝承館の設置及び管理等に関する条例				事業期間		単年度繰返し (平成23年度~)	
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
生涯学習における拠点的な施設として、市民の学習意欲にこたえるため施設整備を行い、施設を貸し出している。 施設人員…行政専門員3名、会計年度任用職員 昼2名夜2名 【委託業務】 ・毎月実施…清掃業務、夜間警備業務、昇降機保守 ・都度実施…消防点検(8月・3月)、自動ドア保守(年2回)、電機工作物保守(5月支払)、各種舞台装置(12月:可動椅子、3月:吊物/照明)、ピアノ保守(10月)・空調機フィルター清掃(年1回)・特殊建築物定期報告(3年に1回) 【直営業務】 ①貸館業務(昼・夜)②清掃、除草(除草剤の散布)、庭木の剪定作業 ③蛍光灯交換、消耗品補充④消耗品購入・支払	【通年業務】 ・伝承館の運営管理(貸館)・年間予定表作成・消耗品購入、支払 ・館内・敷地内清掃、植栽維持管理、草取り(除草剤の散布) ・簡易的な補修改善(壁・床補修、電球交換等) 【その他の業務】 ・委託契約【次年度分を3月締結】、支払事務(人件費、委託料等) ・消防関連 ①防火管理者届出②点検報告書提出(8月)③防火対象物報告(3月) ・消防訓練(年2回届出…9月、3月) ・防火管理者受講(新規5月・10月、更新10月:1か月前に申込) ・真壁のひなまつり中毎日開館(夜間まで)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各所の簡易的な補修改善(壁・床の補修、戸の調整、電球の取替えなど)の維持管理	維持管理委託件数	件	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	貸出日数	日	307.00	309.00	309.00	309.00	309.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
真壁伝承館(歴史資料館・真壁図書館を含む)	真壁伝承館の面積	m <sup>2</sup>	2,742.00	2,742.00	2,742.00	2,742.00	2,742.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設を長く使用可能な状態へと維持管理していく。	貸出件数	件	474.00	623.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	利用者数(会議棟、ホール棟)	人	5,612.00	7,734.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	18,477	14,688	16,833			
	事業費計(A)	千円	18,477	14,688	16,833			
正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人				

事業費の内訳	03年度事業費 実績(千円)			04年度事業費 予算(千円)		
	科目	金額		科目	金額	
01 報酬	3,203		01 報酬	4,472		
03 職員手当等	547		03 職員手当等	558		
08 旅費	40		08 旅費	40		
10 需用費	5,594		10 需用費	6,494		
11 役務費	140		11 役務費	163		
12 委託料	4,367		12 委託料	4,200		
13 使用料及び賃借料	393		13 使用料及び賃借料	454		
14 工事請負費	396		17 備品購入費	444		
18 負担金補助及び交付金	8		18 負担金補助及び交付金	8		
	合計	14,688		合計	16,833	

事務事業名	真壁伝承館管理事業	事務事業No.	20203000635	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年7月16日 竣工</li> <li>平成23年9月1日 開館による運用開始</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
令和元年7月～8月に図書館エアコンが冷却不能になったため、改善を要望する利用者の声があった。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習活動・分化施設の充実に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域住民の生涯学習活動の場として必要である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 利用率が低下していることから、今後、施設運用について見直しをする必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の良好な学習の場所となっていることから、廃止、休止は市民活動に支障をきたす。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 桜川市は人口集中地域が少ないため、市民がある程度平等に生涯学習活動に参加するためにも、旧町村単位の生涯学習施設は必要と考えられる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 行政専門員及び会計年度任用職員で基本的な管理を行っているため、これ以上の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 条例に定める利用料金の設定および市内一律の減免基準による減免を行って貸出しており、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	開館して11年足らずだが、独特の構造・資材による維持管理のしにくさが目立ち、修繕が多い。外壁の木材部分は数年毎に再塗装が必要。これまで2年に1回の特殊建築物定期報告が必要だったが、次回からは3年に1回になる。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コスト</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>		成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	コスト		削減	維持	増加
成果	向上																				
	維持		○		×																
	低下		×	×																	
コスト		削減	維持	増加																	
新型コロナ感染症の拡大により、8月から9月に臨時休館となり開館日数が減少し、その後の夜間貸出を停止を実施したために利用者数の減少に繋がった。 今後のコロナの状況により変動し予測し難いが、施設の維持管理を適正に実施し、いつでも快適に利用できるようにする。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>